

レンジフードファン取付説明書

取扱説明書・取付説明書は必ず使用されるお客様にお渡しください。

壁スイッチ仕様・運動ダンパー仕様で補足説明書が同梱されている物は、それにもつき電気工事を行ってください。

安全上のご注意

- 取付の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく取り付けを行ってください。
- ここに示した注意事項は、製品を安全に正しく取り付け、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。また注意事項は、危害や損害の大きさや切迫の程度を示すために、誤った取り扱いをすることを想定される内容を「警告」「注意」の2つに区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

- 警告：** 人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容。
- 注意：** 人が傷害を負う可能性及び物の損害のみの発生が想定される内容。

お守りいただく内容の種類を次の総表示で区分し、説明しています。

総表示の例

- 記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。
- 記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください）が描かれています。

警告

- 修理技術者以外の方は、絶対に分解したり修理・改造をしないこと
発火・感電したり、異常動作してけがをすることがあります。
- メタルラス張り、ワイヤラス張り、または金属板張りの木造の造営物に金属製ダクトが貫通する場合は、金属製ダクトとメタルラス、ワイヤラス、金属板とが電氣的に接触しないよう取り付けること
漏電したとき、発火したり感電することがあります。

分解・修理・改造禁止 取付注意

●自然排気型のストープを使用するときは、空気の取入口（給気口）により十分給気される配慮をすること
排気ガスが室内に逆流し、一酸化炭素中毒を起こすことがあります。

給気注意

注意

- 交流100V以外では使用しないこと
火災・感電の原因となります。
- 運転中は羽根の中に指や物を入れないこと
けがをすることがあります。
- 羽根や部品の取り付けは確実にすること
落下により、けがをすることがあります。
- 配線工事は電気設備技術基準や内規に従って安全・確実にすること
誤った配線工事は感電や火災の恐れがあります。
- 浴室など湿気の多い場所では絶対に使わないこと
（浴室用換気扇をお使いください。）
感電および故障の原因となります。

使用禁止 取付注意 取付注意 使用禁止

取り付け前の調査と準備

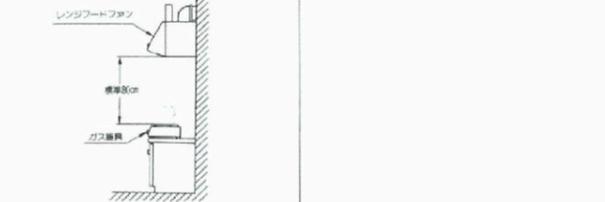
注意

- レンジフードファン本体の取り付け工事は十分強度のある取付け面または補強板等に確実にすること
落下によりけがをすることがあります。
- レンジフードファン本体の重量が大きいこと
壁材が薄く弱いと振動音が発生することがあります。
- レンジフードファン本体の重量が大きいこと
本体の取り付け用木ねじは、45mmの長さのものが同梱されており、石膏ボード等に取付けられる場合は、石膏ボード等の厚さを確認し、取り付け用木ねじが確実に木部に届くことを確認してください。

1. 取り付け面の強度確認 …… 製品を支える強さが必要で。

幅	重さ
600幅	14.0kg
750幅	17.0kg
900幅	20.0kg

- 板厚20mm以上の場合は直接に取り付けてください。
 - 板厚20mm以下の場合は壁に補強板を埋め込み補強板にレンジフードファンを取り付けてください。
 - コンクリート、タイル壁の場合
●あらかじめ補強板を壁に埋め込んでおくか、カールプラグ等を使用し固定してください。
 - 土壁の場合
●柱などに固定した補強板をあらかじめ埋め込んでおいてください。
2. 別売部品の準備
排気工事に必要な別売部品の準備が事前に行ってください。（詳しくは別売部品の項を参照ください。）
3. 標準取付寸法
本製品の標準取付寸法は、ガス器具の上面からレンジフード本体下面まで80cmです。
※火災予防条例では、グリッドフィルターの下端がレンジの真上80cm以上必要となっています。
4. 電源コンセント
コンセントは専用コンセントを設置してください。（交流・単相100V）
コンセントは、15A 125Vをご使用ください。



取付上のご注意

- ガス器具の幅はレンジフードファンの幅以内のものをご使用ください。
ガス器具はレンジフードの前面より手前にはみ出して設置しないでください。排気効率が低下します。
- レンジフードファンの取り付けは、薄板の金属部（室内ラッパ等）と接触しないように、十分注意して工事してください。なお、本体の壁への埋め込みは、絶対にやめてください。
漏電した場合は発火することがあります。
- 非常に取り付けが困難な場合、あるいは給排気口が狭い場合は、排気効果をいじりすぎたり、低下させたり、騒音が大きくなりやすいため使用しないでください。
- 製品の仕様を改造してのご使用は絶対にやめてください。
- 製品の取付工事は手袋を着用してください。
薄板の切り口などでけがをすることがあります。
- レンジフードファン下部には、漏洩器を絶対に取り付けしないでください。また、横方向50cm以上離して取り付けしてください。
漏洩器の真上は蒸気熱になるため故障の原因となります。
- 電源は専用コンセントを付けてください。
火災・感電の原因となります。
- 製品の取付工事は手袋を着用してください。
薄板の切り口などでけがをすることがあります。
- レンジフードファンには、漏洩器を絶対に取り付けしないでください。また、横方向50cm以上離して取り付けしてください。
漏洩器の真上は蒸気熱になるため故障の原因となります。
- 建物が閉鎖されている場合は必ず、約400mm程度の空気取入口を設けてください。
●浴室の中央で料理される場合は、油煙が溜まらぬよう、お台所の全体換気のために、他の換気扇と併用していただければ、よりすぐれた換気ができます。

品名	略図	用途	品名	略図	用途	品名	略図	用途	品名	略図	用途
L型ダクト (LD-15)		左右側方、後方排気のために使用します。	防火ダンパー付きウェザーカバー (WK-15DK)		外壁に取り付け、雨の浸入を防ぎ、防火の役割もします。	丸型フード (VC-15H)		外壁に取り付け、雨の浸入を防ぎます。	深型フード (VCL-15H)		外壁に取り付け、雨の浸入を防ぎ、防火の役割もします。
パイプフード (WK-15K)		外壁に取り付け、雨の浸入を防ぎます。	ジャバラダクト (FJ-15)		直垂排気の中継ダクトとして使用します。	防火ダンパー付き丸型フード (VCL-15DH)		外壁に取り付け、雨の浸入を防ぎ、防火の役割もします。	深型フード (VCL-15DH)		外壁に取り付け、雨の浸入を防ぎ、防火の役割もします。

品名	略図	用途	品名	略図	用途	品名	略図	用途	品名	略図	用途
L型ダクト (LD-15)		左右側方、後方排気のために使用します。	防火ダンパー付きウェザーカバー (WK-15DK)		外壁に取り付け、雨の浸入を防ぎ、防火の役割もします。	丸型フード (VC-15H)		外壁に取り付け、雨の浸入を防ぎます。	深型フード (VCL-15H)		外壁に取り付け、雨の浸入を防ぎ、防火の役割もします。
パイプフード (WK-15K)		外壁に取り付け、雨の浸入を防ぎます。	ジャバラダクト (FJ-15)		直垂排気の中継ダクトとして使用します。	防火ダンパー付き丸型フード (VCL-15DH)		外壁に取り付け、雨の浸入を防ぎ、防火の役割もします。	深型フード (VCL-15DH)		外壁に取り付け、雨の浸入を防ぎ、防火の役割もします。

各部の名称

製品寸法図

付属品

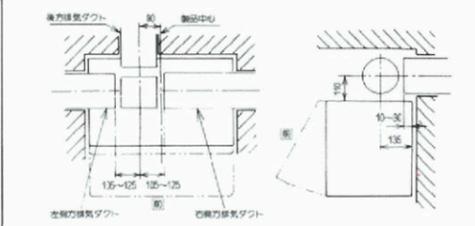
品名	略図	用途
木ねじ		本体の取り付けに使用します。
座付ねじ		本体の取り付けに使用します。
排気口		本体とダクトの接続に使用します。逆風防止シャッター付です。
ソフトテープ		排気口とダクトとの隙間をふさぐのに使用します。

取り付けかた

1. 本体の準備

- コネクタを外します。
①のツメを押しながら、②の方向へ引き抜きます。
- 壁スイッチ仕様の機種にはコネクタはありません。
- 前板を外します。
固定金具を上からスライドさせ、前板を手前に引いてはがします。
- スロットフィルターを外します。
フィルターのところを持って上にあげ、手前に引きます。
- 常時換気風量の設定（強・弱）を本体内部の切替スイッチで行います。
換気風量 常時強 125m³/h
常時弱 75m³/h
※換気設計に基づき設定してください。
- 付属品の排気口、幕板を準備します。
幕板は付属品に同梱の排気口、幕板を取り出してください。
- 天井取付の場合は、製品寸法図に記載されている2φ12ハーフカットをドライバー等で当てて木ハンマー等で打ち抜いてください。

2. 排気方向の決定



3. 排気用部品の準備

1. 本体の準備の項で取り出した排気口を準備してください。

■上方排気の場合
排気口に付属品のソフトテープを貼り幕板本体に取り付けます。
排気口は本体上面の差込部に差し込み、取付ねじ2本で取り付けしてください。（取付ねじはあらかじめ本体の排気口取付部に止めてありますので外してご使用ください。）

■側方および後方排気の場合（別売のL型ダクトを使用する場合）
排気口に付属品のソフトテープを貼り別売のL型ダクトに取り付けます。
排気口は、L型ダクトに付属の取付ねじ4本でL型ダクトに取り付けてください。

別売のL型ダクトを使用しないで、排気口に直接ダクトを接続して側方・後方排気の場合は、シャッターの閉く向きに注意して排気口を取り付けてください。
下の「誤った接続例」の場合、排気不良や異常音の原因となります。

正しい接続例	誤った接続例

4. 本体の取り付け

注意

- 本体の取付工事は十分強度のあるところを選んで確実にすること
落下により、けがをすることがあります。

取付注意

5. ダクトと排気用部品の接続

(1) だるま穴用木ねじをねじ込む。
だるま穴位置（左右各1カ所）に木ねじ（φ4.5×45）を壁面との隙間5mmで締め付けてください。

(2) だるま穴用木ねじに本体を引っ掛け、座付ねじ（φ5.1×45）で本体取付位置4カ所をしっかりと締め付けてください。

(3) だるま穴用ねじ（左右各1カ所）をしっかりと締め付けてください。

6. 幕板の取り付け

■上方排気の場合
逆風防止のテーピング（アルミテープ）を行ってください。

■側方および後方排気の場合（別売のL型ダクトを使用する場合）
(1) L型ダクトを本体上面の差込部に差し込みながら、排気口をダクトに挿入し、取付ねじ2本で取り付けしてください。（取付ねじは、あらかじめ本体のL型ダクト取付部に止めてありますので外してご使用ください。）
(2) 逆風防止のテーピング（アルミテープ）を行ってください。

7. 組み立て

(1) 幕板締付金具のねじ（左右各1カ所）をゆるめ、幕板を前からさしこんでください。

(2) 幕板の取付位置を決め、幕板締付金具のねじを締め付けて固定してください。

8. 電気配線

警告

- 修理技術者以外の方は、絶対に分解したり修理・改造をしないこと
発火・感電したり、異常動作してけがをすることがあります。

分解・修理・改造禁止

注意

- 交流100V以外では使用しないこと
火災・感電の原因となります。
- 配線工事は電気設備技術基準や内規に従って安全・確実にすること
誤った配線工事は感電や火災の恐れがあります。
- コンセントは専用コンセントをご使用ください。
電源プラグをコンセントに差し込みます。

使用禁止 取付注意

9. 試運転

注意

- 運転中は危険ですら羽根の中に指や物を入れないこと
けがの恐れがあります。

接触注意

●スイッチを押して運転状態を確認してください。
スイッチの操作と運転状態については取扱説明書の4ページをご覧ください。
●運転時、強・弱・常時の排気が正しく行われていること。
●異常な騒音、振動がないこと。

10. お客様への説明

●取扱説明書によって換気扇の取り扱いを説明してください。
●取扱説明書と共に、この取付説明書を必ずお客様にお渡しください。

10. お客様への説明

●取扱説明書によって換気扇の取り扱いを説明してください。
●取扱説明書と共に、この取付説明書を必ずお客様にお渡しください。

（製造元） 富士工業株式会社
本社・営業部 〒229-0006 相模原市海野2丁目1番9号
TEL 042/6813/54(営業部)